

これ以上病院難民・介護難民を増やすことは許せません!!

医療・介護総合確保基金ってナニ???

これは、医療や介護の予算を十分に確保する基金ではありません。

高齢化社会に向けて、増えていく医療費の公的負担を抑えるために、病院のベッドを減らすための基金です。今でも、あちこちでリハビリもないままの無理やり退院が横行しています。これではより重症化を招き、医療費の高騰につながります。

Communist



医療・介護総合確保基金条例について

医療費のかかる急性期病床削減につながる「地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設または設備に関する事

業」などが含まれています。この地域医療構想の必要病床数はガイドラインや算定式が示され国主導で決まります。12月定例会では共産党以外の賛成で可決成立されました。

スナップショット



11月18日危機管理・大規模災害対策特別委員会の視察。2月の大雪のつめ跡の残る彩の国くまがやドームへ。屋根が大きく破損しています。



12月21日神根地域の餅つき



12月23日鳩ヶ谷落合公園の餅つき大会



◆市政と県政、力をあわせて

県議員 村岡まさつぐ

プロフィール：党県議団幹事長、県土都市整備委員、危機管理・大規模災害対策特別委員、議会運営委員一級建築士、埼玉県応急危険度判定士、東洋大学工学部卒、川口市議2期、2011年より埼玉県議会議員



市議会議員 金子のおお 市議会議員 板橋ひろみ 市議会議員 松本さちえ 市議会議員 今井はつえ 市議会議員 矢野ゆき子 市議会議員 金子ゆきひろ 党市生活相談室長 井上 薫 党市自治政策責任者 平川みちや

埼玉県議会議員

村岡正嗣の県政だより

冬号 発行 2015年1月

日本共産党埼玉県議団

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1 埼玉県庁内
TEL048 (824) 3413 FAX048 (825) 1048
<http://jcp-saitama-pref.jp/>



11月、米の暴落問題で米作農家を訪問（右が紙智子参議院議員、左が村岡）

昨年の大雪被害や米価暴落では被災農家を何度も訪ね農業再建に奮闘し、12月定例会ではアベノミクスを批判、中小企業振興策を提案しました。

安倍政権の暴走は国民との矛盾をさらに深めることは必至です。くらしに直結する県政のあり方が問われます。

私は、福祉・くらし・防災の埼玉の実現、平和を守るため、本年も全力で頑張る決意です。



昨年12月8日、村岡正嗣県議は本会議一般質問を行ない、知事に直接質問しました。
アベノミクスの評価については、知事は答弁を避けました。

村岡 私はアベノミクスは地域の中小企業になんら恩恵をもたらしていないと思うが

知事 アベノミクスについては、まだ評価できる段階にないのではないかと考えています

「中小企業の振興で、地域活性化を」 本腰を入れた施策を求める

村岡 官公需発注での、中小企業向け契約の拡大を図るよう、強く求めたい。

産業労働部長 「県内中小企業にできることは全て県内企業に」を基本に、受注機会の拡大に努めて参ります。

中小企業への発注機会を増やすよう自治体に求めた官公需法。埼玉県は全体で76%程度に留まっています。この拡大を求めました。(2013年埼玉県の契約実績に占める中小企業向け契約実績の金額比率)



建設業の担い手確保を

村岡 設計労務単価があがっても、技能労働者の賃金に反映されていない。

県土整備部長 賃金実態は複数の建設労働団体と意見交換の場で聞いている。実勢価格を反映した予定価格の設定など、適切な賃金水準が確保されるよう努めます。

建設業界では地域の技能労働者が減少し高齢化も進んでいます。公共事業を発注しても応じる業者がいません。そこで設計労務単価は引き上げられましたが、現場では1円も上がっていないという声があり、質問しました。

ほかにも…

- ◆労働者派遣法の改悪はしないよう国に求めよ
- ◆正規教員を増やし計画的に臨任教員を減らせ
- ◆子ども医療費や重度の障害者の医療無料制度の拡充を
- ◆今後の県負担132億円のハツ場ダムなどから撤退を
などをとりあげました。

みんなで作った 日本一の学童クラブ制度、拡充を

禁煙

11月21日埼玉県学童保育連絡協議会と埼玉県の懇談であいさつする村岡県議

村岡 全国1の埼玉学童の運営基準の厳守を。

知事 引き続き先進県としての役割を担っていきたいと思います。

埼玉県は放課後児童クラブについて、「指導員を常勤複数」とするなど、優れた運営基準を作ってきました。村岡県議はその基準と財政支援の堅持を求めました。

「珍しく、ほめていただきました」



上田知事

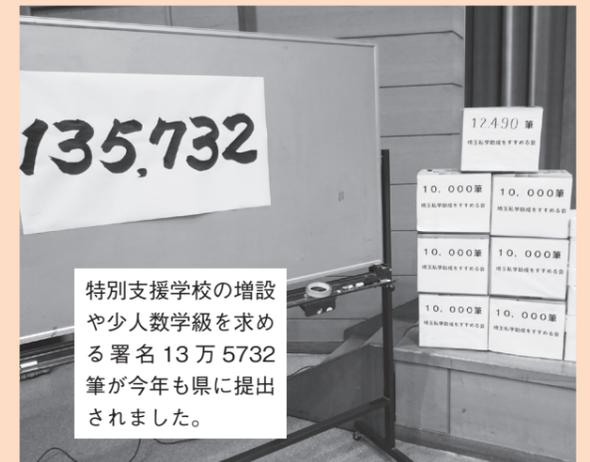


障害児に豊かな教育を

村岡 川口特別支援学校（知的障害）と越谷特別支援学校（肢体不自由）の過密解消を

教育長 川口市の周辺地域も含めて、高等部の設置などを検討して参ります。

川口特支は、校庭が非常に狭く、高校生用のプールもありません。越谷特支は全国10指にはいるマンモス校です。村岡県議は、その解決のために、特別支援学校の増設を求めました。



特別支援学校の増設や少人数学級を求める署名13万5732筆が今年も県に提出されました。

学びのよりどころ 夜間中学を埼玉県にも

貧困や不登校、ひきこもり、外国籍など様々な人々の学習を保障する夜間中学。
全国8都道府県に31校あるのに、埼玉県には1つもありません。

81才のAさん 東京の夜間中学を卒業!!

戦時中家庭の事情で国民学校高等科に行けませんでした。

結婚後3人の子どもの恵まれるも、その子らに勉強を教えられず、町内会の会合でも発言はひかえがち。悔いを残したくないと、電車で2時間かけ夜間中学に通いました。



村岡 せめて本県にも1校公立の夜間中学を設立していただきたい。

知事 国において、47都道府県に最低1校設置したいという国会答弁がございました。いざ、(国の議論が)煮詰まった時に出遅れがないよう整理しておきます。